

東京の荒れた山林や

空き家でふるさとづくり

私たちNPO法人東京里山開拓団は、虐待や貧困などで親から離れて暮らす児童養護施設の子どもたちとともに、荒れた山林や空き家を再生して自らふるさとを創り上げるボランティア活動を15年にわたって推進しています。

荒れた山林については、何かまともなものできて、子どもたちの歓声が里山にあふれるようになりまし。また絶滅危惧種の鳥ミソゴイも住みつく里山として再生しました。

また、里山のふもとでゴミ屋敷となつて朽ちかけていた築300年の古民家も素人DIYで再生し、児童養護施設のふるさとの家「さところりん」として無料運営しています。目の前に里山や小川があり、縁側や囲炉裏、まきストーブもあつて里山ライフが実現できます。



さとところりん美山

さらに、世田谷区と豊島区の空き家を志ある大家から期間限定・無料提供いただいてDIY再生し、施設退所者の自立応援の家「まところりん」を2024年4月にオープンしました。親からの支援や公的な支援が十分でない児童養護施設退所者の自立を5年間家賃無料などで総合的に民間

児童養護施設の子どもたちと一緒に再生

NPO法人東京里山開拓団代表 堀崎 茂

応援しようという試みです。私たちの活動は、一見他にもある居場所づくり、自立支援、里山保全のボランティアに見えるかもしれませんが、私たちが可哀想な子どもたちを支援しようというスタンスはとっていません。支援は自立を遠ざけてしまつて考えているからです。

置するばかりの可哀想な大人の社会課題を克服しようとして喜んで参加してくれているのです。

本活動の試みは、環境大臣&厚生労働省表彰、環境白書掲載、メディアやイベント等で少しずつ注目いただけるようになってきました。

開拓者精神の発揮

ここでは、本人自ら開拓者精神を發揮し、埋もれていた山林や空き家を活用して、願つてもかなわなかつた理想のふるさとを一緒に創り出そうとしているのです。イメージでいえば、テレビの『DAS H村』や『北の国から』を地で行く感じです。

私たちが運営にあつて、「開拓者精神の發揮」を重視しています。普段の私たちの社会では、なんでもお金を払つてプロにやつてもらうのが当たり前で、それが最もいいやり方と考えがちですよね。でも、「開拓者精神の發揮」はそれとは真逆のやり方です。それは現状をよく観察し、



ほりさき・しげる 1971年愛知県生まれ。NPO法人東京里山開拓団代表、山林地主、2児の父。東京周辺の荒れた山林に通つて15年。「児童養護施設との里山開拓」は環境保全と児童福祉の一石二鳥を目指す前例のない試みとして注目を集める。自らを実験台として心豊かな暮らしと社会の実現を目指す。

どうすればそれが身に付くのか具体的に教えてという人は、その時点で失格です。開拓者精神はもう既に自らの心の中にあるのです。それが眠っているなら自らたたき起こして、自らの暮らしや社会をよくするために發揮させるだけの子どもたちがそこまて言うのです。ここでは正解などなく、試行錯誤の連続です。手間も時間もかかります。しかし、そうしてつかみ取つたものは本物です。誰か「プロ」にやつてもらつたものとは全く違います。なぜなら、自らの力でできたという自信、た



里山開拓

は正解と一緒に探して試行錯誤する姿勢、企業の人には給料なしでもずっとやり続ける気概に欠けるところがあります。NPOならそこを乗り越えられる可能性があると思つています。

あわせて、税金にできる限り頼らずに民間ボランティアで運営することにもこだわっています。長年、社会課題の克服に莫大な税金が投じられながら一向に解決の糸口が見いだせないのは、そこに大きな利権があり、多くの人が依存し続けようとするからではないでしょうか。

だから、私たちは税金なしの民間ボランティアでどこまでできるか試してみようと思ひ立つたのです。それは何も特別なことではなく、戦前の社会保障制度が十分でなかった頃には誰でもどこでもそうしていたことです。

社会制度が複雑化、肥大化、利権化するなかで、「心豊かな社会を自らの力で創り上げよう」なんて気概は、市民の心の中から消え失せつつあります。でも、私たちは、ノコギリやぞうきんを片手に、今一度そんな精神を取り戻していきたいと考えているのです。

私たちのNPO運営では、行政、専門家、企業がやろうとしないことに注力しています。行政の人は縦割りを超えた施策を進める発想、専門家は

上がつてくるからです。思い出もセツトになつて出来上がりを生かして、自ら失敗を恐れずに試行錯誤して、困難精神を發揮して作り上げてきた楽しみなながら乗り越えようとする生き方です。

「開拓者精神の發揮」はそれとは真逆のやり方です。それは現状をよく観察し、

どうすればそれが身に付くのか具体的に教えてという人は、その時点で失格です。開拓者精神はもう既に自らの心の中にあるのです。それが眠っているなら自らたたき起こして、自らの暮らしや社会をよくするために發揮させるだけの子どもたちがそこまて言うのです。ここでは正解などなく、試行錯誤の連続です。手間も時間もかかります。しかし、そうしてつかみ取つたものは本物です。誰か「プロ」にやつてもらつたものとは全く違います。なぜなら、自らの力でできたという自信、た